

三国港突堤築造

1880年12月に内務省土木局に奉職した古市は、まず河川・港湾の改良工事の設計および工事監督に従事した。

その初めは、九頭竜川河口にある福井県三国港の突堤築造であった。82年2月に現地に派遣されて調査し、エッセルが設計した突堤の工事後竣工部分を直轄で施工した。

豊平川水害防御計画

1882年8月、古市は同年4月の水害で破堤した北海道の豊平川を視察し、翌年2月、札幌市街地への水害を防ぐための計画を立案した。その内容は2kmに及ぶ堤防と護岸の新設および水門1カ所の築造であった。

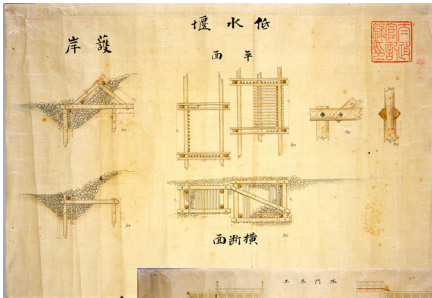
工事は、札幌県によって83年6月に着手され、84年度に竣工した。この間、古市は83年6月と翌年6月の2度現地に赴き、指導にあたった。しかしながら、立派につくられたこの堤防でも豊平川の出水を抑えこむことはできず、89年9月に決壊してしまった。



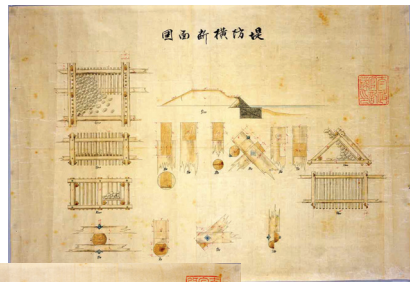
②-4 三国港（旧阪井港）突堤（写真提供 西山芳一氏）

以下に示す豊平川水害防御計画図面は、1883年

2月に内務省に提出されたもので、古市がフランス留学で習得した作図技法が、見て取れる。同図面はまた、現存する近代最古級の河川改修平面図である。

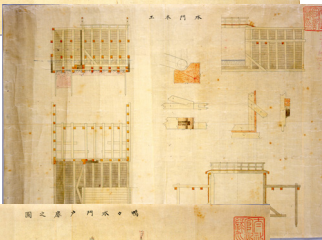


②-5-5 低水堰平面図・横断面図等

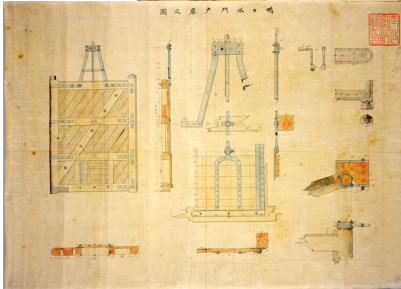
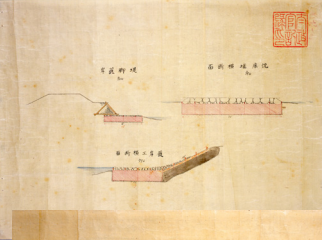


②-5-3 堤防横断面図

②-5-7 鴨々水門の木工



②-5-4 護岸・沈床等横断面図



②-5-6 鴨々水門の門扉



②-5-2 平面図 - 部分拡大図



②-5-1 豊平川堤防修築計画平面図 国立公文書館所蔵 重文。今回の資料調査で新たに発見。古市の手による現存の唯一の設計図面)